

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 26 日

青森県知事 宮下 宗一郎 殿

提出者 青森県五所川原市大字太刀打字早蕨98-4
住 所 齋 勝 建 設 株 式 会 社
氏 名 代表取締役 齋 藤 彰 浩
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0173-35-2710

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	齋勝建設株式会社
事業場の所在地	青森県五所川原市大字太刀打字早蕨98-4
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	工事受注額 61億円／年
③ 従業員数	130人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→破碎→再生利用 ガラス・陶磁器くず→管理型埋立 金属くず→圧縮→再生利用 燃え殻→管理型埋立 建設汚泥→造粒固化→再生利用 廃プラスチック類→破碎・圧縮→熱回収 木くず→破碎→焼却→熱回収 繊維くず→破碎→焼却→熱回収 紙くず→破碎→焼却→熱回収

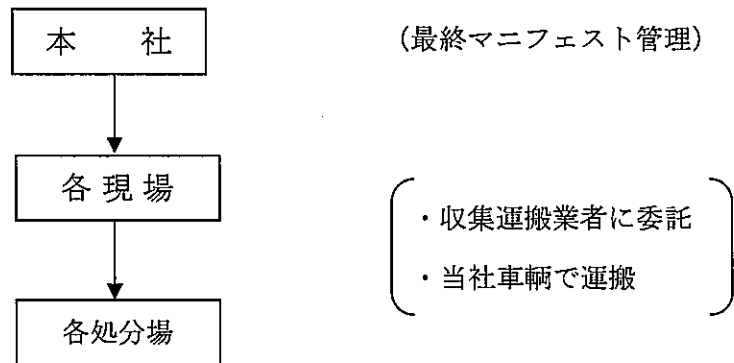
（日本工業規格



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設汚泥
	排出量	23,921.88t	4.50t	863.21t
	(これまでに実施した取組)			
	・発注者の指示に従い、行っている。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	建設汚泥
	排出量	20,000.00t	4.00t	800.00t
	(今後実施する予定の取組)			
	・発注者の指示に従い、行う。			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・発注者の指示に従い、行っている。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・発注者の指示に従い、行う。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	が れ き 類	金 属 く ず	建 設 汚 泥
	自ら再生利用を行なった産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	が れ き 類	金 属 く ず	建 設 汚 泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	が れ き 類	金 属 く ず	建 設 汚 泥
	自ら熱回収を行なった産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	が れ き 類	金 属 く ず	建 設 汚 泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	が れ き 類	金 属 く ず	建 設 汚 泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまでに実施した取組)			
	・特に実施していない。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	が れ き 類	金 属 く ず	建 設 汚 泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組)			
	・実施予定なし。			

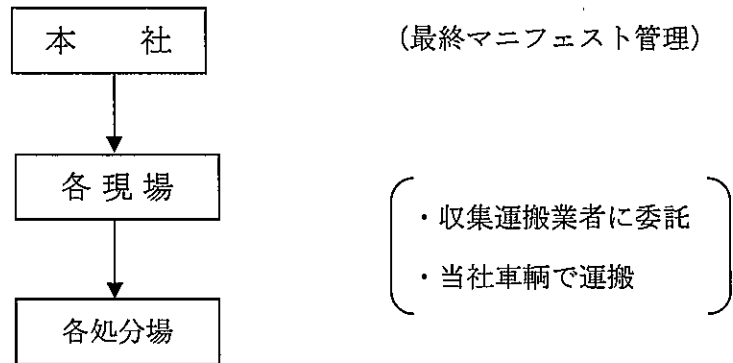
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	が れ き 類	金 属 く ず	建 設 汚 泥
	全 処 理 委 託 量	23,921.88t	4.50t	863.21t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	再生利用業者への処理委託量	23,921.88t	4.50t	863.21t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまでに実施した取組)			
	・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。			

② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	が れ き 類	金 属 く ず	建 設 汚 泥
	全 処 理 委 託 量	20,000.00t	4.00t	800.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	再生利用業者への処理委託量	20,000.00t	4.00t	800.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組) ・再利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。			
※事務処理欄				

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
	排出量	91.02t	678.55t	13.24t
	(これまでに実施した取組)			
	・発注者の指示に従い、行っている。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
	排出量	80.00t	600.00t	10.00t
	(今後実施する予定の取組)			
	・発注者の指示に従い、行う。			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・発注者の指示に従い、行っている。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・発注者の指示に従い、行う。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行なった産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
	自ら熱回収を行なった産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまでに実施した取組)			
	・特に実施していない。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組)			
	・実施予定なし。			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
	全処理委託量	91.02t	678.55t	13.24t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	再生利用業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	91.02t	678.55t	13.24t
	(これまでに実施した取組)			
	・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。			

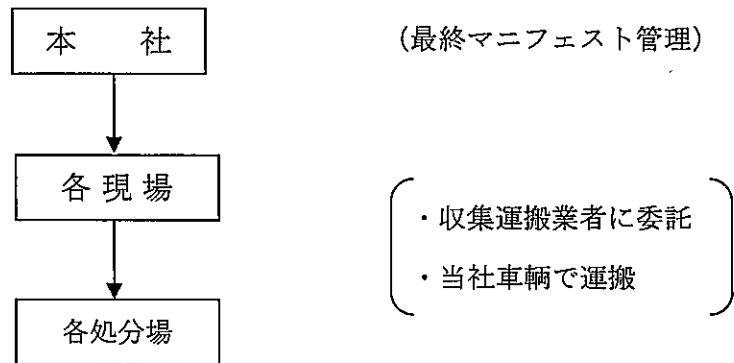
(第5面)

② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木 く ず	繊 維 く ず
	全 処 理 委 託 量	80.00t	600.00t	10.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	再生利用業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	80.00t	600.00t	10.00t
	(今後実施する予定の取組)			
	・再利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。			
※事務処理欄				

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	燃 え 殻	紙 く ず
	排 出 量	64.493t	5.21t	10.50t
	(これまでに実施した取組)			
	・ 発注者の指示に従い、行っている。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	燃 え 殻	紙 く ず
	排 出 量	60.00t	4.00t	9.00t
	(今後実施する予定の取組)			
	・ 発注者の指示に従い、行う。			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 発注者の指示に従い、行っている。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 発注者の指示に従い、行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	燃 え 殻	紙 く ず
	自ら再生利用を行なった産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまでに実施した取組)			
	・特に実施していない。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	燃 え 殻	紙 く ず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組)			
	・実施予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	燃 え 殻	紙 く ず
	自ら熱回収を行なった産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまでに実施した取組)			
	・特に実施していない。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	燃 え 殻	紙 く ず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組)			
	・実施予定なし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	燃 え 殻	紙 く ず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまでに実施した取組)			
	・ 特に実施していない。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	燃 え 殻	紙 く ず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組)			
	・ 実施予定なし。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	燃 え 殻	紙 く ず
	全処理委託量	64.493t	5.21t	10.50t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	再生利用業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	10.50t
	(これまでに実施した取組)			
	・ 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。			

② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	燃 え 殻	紙 く ず
	全 処 理 委 託 量	60.00t	4.00t	9.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	再生利用業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	9.00t
	(今後実施する予定の取組) ・再利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。